



いざと言う時に 災害から動物を守るために

災害が起きたときにどのように対処したら
良いか、にゃんねっとではVOL19で一度
記事を書かせていますが、今回再確認を兼ね
て、もういちど特集したいと思います。

※地震の時は、これだけは絶対に持って避難！
「携帯電話」「水1ℓ」「ラジオ」

まずは身の 安全を確保

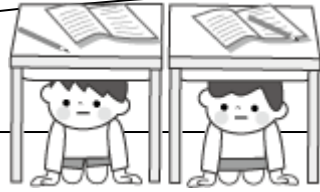


- 突然大きな揺れに襲われたときは、まずは自分の身を安全に守れるように心がけましょう。
- 丈夫な机やテーブルなどの下にもぐり、机などの脚をしっかりと握りましょう。また頭を座布団などで保護して、揺れが収まるのを待ちましょう。
- 戸を開けて、出入り口の確保をしましょう。
- 棚や棚に乗せてあるもの、テレビなどが落ちてきたりするので、離れて揺れが収まるのを待ちましょう。
- 火を使っている時はあわてず、揺れが収まってから止めましょう。
- あわてて戸外に飛び出さないようにしましょう。

避難生活の必需品(人間編)

- 食料品：インスタント食品、乾パン、缶詰
- 飲料水：3日分（目安は1人1日3ℓ）
- 医薬品：消毒薬、胃腸薬、かぜ薬、脱脂綿、絆創膏、包帯など。
（※自分の飲んでいる常備薬は忘れずに）
- 日用品：ティッシュ、懐中電灯、ラジオ、電池、缶切り、ナイフ、マッチ、生理用品
- 衣類など：毛布、下着、セーターやジャンパー類、軍手など
厚手の手袋、防災頭巾、ヘルメット
- その他：現金、印鑑、預金通帳など

あわてず冷静に 火災を防ぐ



- 安全を確認後、使用中のガス器具・ストーブなどは、素早く火を消しましょう。
- ガス器具は元栓を締め、電気器具はコンセントを抜きましょう。
- 地震後に避難する場合は、ブレーカーを切ってから避難しましょう。



避難の行動・方法

- 避難する時は、原則として徒歩で避難しましょう。車を使うと渋滞を引き起こし、消防・救急活動などに支障をきたします。
- 携帯品は歩きやすいように背負える範囲のものにとどめ、服装は活動しやすいものに。
- 近所にも声をかけ、安否を確認しましょう。
- 最寄の小中学校などが避難場所に指定されています。更に危険がある場合は広域避難場所に避難する必要がありますので、身近な避難場所や広域避難場所を日頃からチェックしておきましょう。



災害に備え、日ごろからペットのしつけや健康管理を適切に行うことが肝心です！
混合ワクチン(犬猫)、狂犬病予防注射(犬)、ノミダニ駆除(犬猫)は定期的実施を。

また、地震が起きた時は動物もパニック状態になり、普段は見せないような行動を取る恐れがあります。逃げ出さないようになるべく早くにケージに入れるか、リードにつないでおきましょう。地震の直後は人間もパニックになりがちですが、出来る限り冷静になり、動物の不安をあおらないようにしましょう。

災害時に猫にふりかかる問題は犬と比較して深刻です。まず一緒に避難しようにも「隠れて見つからない」という事が多いようです。対策としては・あらかじめ隠れ場所を把握しておく・安全で隠れやすい場所を飼い主が用意してしまう(普段からキャリーバックやケージを寝床などにして慣らしておく)。またもぐり込んだら連れ出せないような場所はあらかじめ侵入防止の対策をしておくのが良いでしょう。どうしても見つからない場合は洗面器や鍋など複数の容器に十分な量の水と餌を置いて避難します。(人の避難が遅れ、飼い主に万が一の事があれば、猫は助かっても路頭に迷います。) 避難の際には絶対に『火事を出さない注意』を。大規模な震災でも、火さえ出なければ生存の可能性は増します。

避難所ではお互いに気持ちよく過ごせるようにマナーを守りましょう。ペットがしつけられれば周囲の人達も飼い主も心が休まります。普段から下記の点に注意して、しつけをしておきましょう。

- 犬の場合**
- ①ケージに入る事にならしておく。
 - ②トイレは決められた所(室内)です。
 - ③飼い主の指示(待て・すわれ等)を守り、無駄吠えさせない。
 - ④人や他の動物を怖がらないとなお良い。
- しつけ**
- 猫の場合**
- ①ケージに入る事にならしておく。
 - ②トイレは決められた所(室内)です。
 - ③人や他の動物を怖がらないとなお良い。

避難所では集団生活になります。動物が好きな人、嫌いな人、アレルギーを持つ人など様々な人が集まります。ペットが嫌われ者になるか、皆に好かれるかは、飼い主次第なのです。

災害時の混乱の中では、ペットと離れ離れになってしまう事もあります。迷子になった動物を探す時や、保護された時に必要となるのが鑑別情報です。

大切なペットのために、鑑札や狂犬病予防注射済票(犬)、迷子札、マイクロチップ装着など、平常時から飼い主の明示を徹底しましょう。
普段から首輪に慣らし、首輪にも連絡先明記を！！

飼い主の明示



ペットのための防災用品

救援物資はすぐには届きません！
最低でも5日分は用意しましょう。

- ① フード、水、薬
- ② ペットのトイレ用品(ペットシート、新聞紙、猫の砂など)
- ③ 避難所でのケージ、首輪、リード・ハーネス(猫も必要)、ケージを覆えるタオル類。
- ④ ペットの写真(ペットを探す時に必要)
- ⑤ 食器・水入れ(使い捨て可)
- ⑥ ペットの飼育手帳(健康状態、ワクチン接種状況、治療中なら治療内容、服用中の薬の名前や検査結果など)